

## 早春の植物

春です。今、雑木林の中は、一年中で最も明るい季節です。4月の雑木林は、雪がとけて、木の葉がまだ開いていないので、たくさんの光が地面にとどいています。風はまだ冷たくても、地面は、かなり暖かくなっています。この時期を、うまく利用して、大いそぎで花を咲かせる植物があります。カタクリやヤマエンゴサク、キクザキイチゲやニリンソウなどは、その代表的な植物で、彼らの生活は、4月に、きれいな花を咲かせ、5月に実をつけて、林の中が暗くなる6月には、もう枯れてなくなってしまうという短いものです。そのあとの季節は、土の中の根や茎で、眠ってすごします。このように、早春のわずかな期間に、一年分の生活をしてしまう植物を、“早春植物”といいます。英語では、これらの植物の性格をスプリング エフェメラル (Spring Ephemeral) “春の短命な花”と、言い表わしています。

4月から5月にかけての雑木



カタクリ

林では、このほかに、シュンラン、スミレサイシン・ショウジョウバカマ、イワウチワ、ホワリワネコノメなどが、花をつけ始め、雑木林の林床は、一年中で一番にぎやかな季節になります。

みなさんも、近くの山へ行って早春植物を見てみませんか。今すぐ出かけましょう。ゴールデンウィークになると、もう手遅れですよ。(M.O)



スミレサイシン



シュンラン



富山市科学文化センター

富山市西中野町3丁目1番19号 (〒930-11)

電話 富山(0764) 91-2123(代表)

昭和58年4月 / 日発行